



兵庫県議会議員

石井ひでたけ



石井ひでたけ県政報告

Vol.111

2024年 冬号

発行元: 石井ひでたけ事務所

みるみる通信

日々の活動は
ブログを
ご覧ください



オール兵庫、チーム兵庫の団結による「飛躍ひょうご」を期して!!

激動の2024年が幕を閉じようとしています。1月1日の能登半島地震に始まり、8月には南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)が初めて発令、相次ぐ風水害など自然災害に対する脅威は高まっています。さらに、闇バイトによる強盗事件が多発するなど凶悪犯罪に対する不安感もぬぐえません。また、緊迫する国際情勢に加え、国内では物価高騰が続いています。

兵庫県では元県民局長の告発文書に端を発した県政の混迷が未だなお収束していません。6月には県議会に51年ぶりとなる百条委員会を設置、真相究明を進めてきましたが、これ以上の県政の停滞は許されないと9月に知事不信任決議を全会一致で可決、そして、11月の知事選で齋藤知事が再選しました。しかし、真相究明の調



来年の干支を背景に (県立明石公園 菊花展覧会場にて)

査は途上であり、火種はいまなおすぶっています。

今年もすでに180回以上行っている朝夕の駅頭などでの活動では、様々な意見をいただきました。これまでの私の県政での経験をしっかりと活かして、県民のために、県職員のために頑張りたいとの激励の声も多々いただきました。地元の行事に参加した際やメールでも意見や質問をいただいています。中には、私の朝夕の活動に「元氣」をもたらしているとの心温まるメールもあり、SNSなどが大きな影響を与える状況の中でも、私の日頃の地道な活動を見守って応援してくださいの方もおおり、期待にしっかりと応えていかなければいけないと改めて誓いました。

来年の1月17日には阪神・淡路大震災から30年の大きな節目を迎えます。私が政治を目指した原点であり、震災からの創造的復興の過程で身に染みて感じたその「人と人の絆」の大切さ、自然との共生の重要性を次代に繋ぐためにも具体的な施策として進めていかなければなりません。そのような思いを込めて来年度予算編成に対する知事申し入れを12月3日に行いました。①街創、②連携、③元氣、④調和、⑤備え、⑥改革の6つの観点から、オール兵庫、チーム兵庫の団結による「飛躍ひょうご」を期した政策を約100項目にまとめ、来年度予算への反映を強く求めました。特に神戸市、近隣する明石市に関連する項目の一部も掲載いたしましたのでご一読ください。

令和7年度県当初予算に対する知事申し入れ



2025年度予算編成に対する
申し入れ書は下記の
QRコードからご覧ください



① 街創

- 1 家庭・地域の絆を育み、ふるさと意識の醸成を高める施策の充実
- 2 出会い・結婚・出産・育児・教育・しごとまで切れ目ない好循環の子ども・子育て支援環境の充実
- 3 コロナ禍の経験と教訓を活かした教育の推進
- 4 豊かな人生を切り拓く教育の推進
- 5 人口流出対策における神戸市との連携
- 6 兵庫県立大学共通キャンパスの整備
- 7 教育環境の充実について
- 8 高校生県議会などを通じた主権者教育の推進

② 連携

- 1 地域プロジェクトの県全体への波及
- 2 神戸空港の国際化を踏まえた交流人口の拡大
- 3 経済・産業政策と雇用政策の一体的推進および地域活性化の支援強化
- 4 業務用ドローンの利活用の拡充
- 5 公契約条例の制定による公契約の適正化
- 6 民間活力を生かした明石港東外港地区再開発
- 7 公営住宅における県市連携
- 8 県立図書館のあり方検討

③ 元氣

- 1 人生百年時代に対応した医療確保と健康づくり
- 2 ひょうご障害者総合トレーニングセンター(仮称)の早期整備
- 3 県立明石公園自転車競技場の大規模改修
- 4 粒子線医療施設を併設した県立がんセンターの機能強化
- 5 神戸マラソンのさらなる魅力向上
- 6 自転車を活用した地域の賑わい創出
- 7 大鳴門橋自転車道開通を見据えた地域活性化
- 8 誰もが感動し、楽しむ芸術文化の振興

④ 調和

- 1 サイクルツーリズム推進による観光振興
- 2 街なかの緑化など景観向上への支援充実
- 3 高温に強いオリジナル農産物新品种の開発
- 4 食料自給の拡大につながる農業生産振興
- 5 地域農業の持続的発展



⑤ 備え

- 1 阪神・淡路大震災30年を契機とした取組
- 2 能登半島地震を踏まえた課題への対応
- 3 新たなBCP計画(事業継続計画)の公共施設への策定
- 4 防災先進県ひょうごを体現する県庁舎整備
- 5 都市計画道路 玉津大久保線・江井ヶ島松陰新田線早期開通にむけた県支援
- 6 明石川流域の有機フッ素化合物(PFAS)への対応
- 7 大学・研究機関等と連携した健康危機管理対策

⑥ 改革

- 1 県有施設のLED化の推進
- 2 県民の期待に応える体系的な戦略の実行
- 3 県民を巻き込むワガコト広報の展開
- 4 勤労者総合福祉基金のあり方検討
- 5 市町との信頼関係の構築

第369回12月定例県議会報告 (12月3日~12月13日)

○議決案件

- ・令和6年度兵庫県一般会計補正予算(緊急経済対策) 655億円
長引く物価高騰に幅広く支援するため、ひょうご家計応援キャンペーン第4弾の延長などを行うことにしました
- ・兵庫県立高等学校の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
西区では伊川谷高校と伊川谷北高校が統合し、神戸学園都市高校になります
- ・兵庫県公立大学法人第三期中期目標の策定
- ・知事及び副知事の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例 など計45件

○同意人事

- ・収用委員会委員の新任

計1件

○意見書

- ・選挙活動の健全性を確保するために国の対応
- ・災害情報を一元化し事前防災から復旧・復興まで一連の災害対策を担う防災庁の拠点兵庫県に設置
- ・不登校児童生徒に対して多様な学習機会を確保するための支援制度の確立
- ・カスタマーハラスメント対策 など計8件

能登半島地震 被災地を再訪問(11月20日~21日)

能登半島地震の被災地を11月20、21日の2日間にわたり視察しました。3月に続いて2回目の訪問になります。まずは石川県輪島市の朝市通りへ。前回の訪問時はガレキだらけでしたが、現在ほぼ更地となり、倒壊ビルも一部撤去が進んでいました。続いて、兵庫県がカウンターパート方式で支援している珠洲市へ。県から中長期派遣されている職員(技術職等6人のうち2人)と面談し、従事している仕事について説明を受け、激励しました。また、社会福祉協議会及び市役所を訪問し、ボランティアの受け入れ状況や復旧事業の進捗状況などについて説明を受け、阪神・淡路の経験も踏まえながら意見交換しました。



ようやく撤去が進む解体現場(輪島市にて)

2日目、仮設住宅などを視察後、金沢市の石川県立図書館を訪れ、副館長からの説明を受けました。県立図書館としては3代目。閲覧席500席で子どもエリアや文化コミュニティ用のスペースもあり、担当部局は教育委員会から知事部局へ変更し、多くの方に図書館へ来てもらい、一日中ここに居たくなるように様々な工夫をされたそうです。色んな本に興味を抱かせるような仕掛けや、簡単に検索でき、閲覧も自由な場所で自分のペースで見ることが可能で、本の魅力を発見でき、没頭してしまいそうな図書館。単に本の貸出しだけでなく、情報を与えてくれ、文化を広げ深めてくれる場所、そして心を豊かにしてくれる場所と感じました。今年10月に開館50周年を迎えた兵庫県立図書館の今後のあり方について、大変参考になりました。

被災地では、前回の調査よりも人々の動きが目に見えて増えています。被災地の皆さまには、本復興まで相当の時間がかかりますが、前を向いて負けずに頑張る姿を心から応援しています。兵庫県においても上下水道(管渠、処理場)施設の耐震化を早急に進めること。仮設住宅の建設地を各市町が事前に決めておくこと。ドローンを使って早期の被災状況確認や支援物資の搬送が可能になるよう準備を進める必要があること等を強く感じました。

農政環境常任委員会活動報告

管外調査:11月6日~11月8日 北海道

閉会中の継続調査事件として10月28日に「農業の担い手育成、農地有効活用及び水田農業の推進」「畜産業の振興」、11月18日に「生物多様性の保全及び野生鳥獣の保護管理」「水・大気環境の保全と再生及び環境影響の未然防止」、12月16日に「農業改良普及事業及び環境と調和した農業の推進」についてをテーマに開催されました。



造林作業を現地調査

○千歳林業株式会社(虻田郡倶知安町):多目的造林機械の導入により、造林作業の軽労化、省力化、低コスト化を実現(写真右)。

- クボタアグリフロント(北広島市):『食と農業』の未来を志向する仲間づくりの場」をコンセプトに、最先端のアグリテック(ICTやロボット技術を用いて農作物を生産する農業)や農業経営ゲームなどが体験できます。
- 有限会社余湖農園(恵庭市):60品目以上の作物を栽培し、その多くが特別栽培農産物。農福連携、6次産業化、観光農業に関する取組にも注力。
- 長万部アグリ株式会社(山越郡長万部町):AIを活用し、糖度・栄養価の高いミニトマトを生産。
- 函館市国際水産・海洋総合研究センター:キングサーモン・真昆布の完全養殖技術研究、地域カーボンニュートラルによる水産養殖研究を推進し、地域で養殖産業群を形成。

都道府県議会議員研究交流大会に参加

11月12日、東京で開催された都道府県議会議員研究交流大会に参加しました。午前中は一般財団法人地域・教育魅力化プラットフォーム会長・理事の水谷智之氏から「地方創生から10年 若者に選ばれ続ける地域づくり~高校再生を起点に若者還流を~」と題して基調講演が行われました。島根県海士町の「島の留学」の事例も紹介され、以前から興味を持っていた地方創生事例だったので興味深く聞き入りました。

午後からは、「議会が主体的に行う主権者教育の推進」、「多様性のある地方議会の実現」をテーマに2つの分科会があり、コーディネーター、パネリストと参加する議員との間で意見交換を行い、会場は熱気に溢れていました。今年2月定例県議会の一般質問でも取り上げた高校生への主権者教育など、若者等多様な人材の議会への関心を促進するため、議員が果たすべき役割の重要性を再認識しました。



編集後記

みるみる通信111号を作成するにあたり、この1年を振り返ってみました。「混乱」「混迷」「不安」の言葉ばかりがよぎります。逆に「信頼」「信用」の回復を目指し、明るい未来を「信じ」ていただけるため、「信念」を貫いた1年だと思い、私の令和6年の漢字一字は「信」に決めました。

また、私ごとになりますが令和6年度が始まった4月1日を機に、会派を離れ、より県民に寄り添えるように特定の組織に縛られることなく、いち議員としての議会での活動を「第3ステージ」として位置付けて取り組むことにしました。入院生活も経験し、本当に多くの皆さま方に助けられた1年でした。改めて感謝を申し上げます。「信」ある心と心の繋がりの大切さを痛感しています。

「心ある人には、心ある人が集まる。心ある政治には、心ある一票を投じる。心を磨き続けることで、政治は磨かれる」との思いを改めて胸に刻み、以前から考えていた四国お遍路の巡礼を行うことを決意しました。行う以上はすべて歩く「歩きお遍路」。何回かに分けて還暦を迎える歳には達成したいと心に誓っています。この号が皆さまの手元に届くころには、強い精神力を磨き、山積する県政課題に打ち勝つ「心」の拠り所を求め、県民の幸せを願って歩き、1回目の「心の旅」を無事終えていると思います。

令和7年の干支は「乙巳(きのとみ)」。「努力を重ね、物事を安定させていく年」とも言われています。県政の安定、そして蛇が脱皮して成長するように「困難を乗り越えて新たな段階へ進む」1年になるよう誠心誠意努力してまいります。ご理解、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

石井ひでたけ プロフィール

昭和41年4月15日生まれ(B型)
西区学園西町在住
白陵中・高、神戸商科大学(現兵庫県立大学)卒、サラリーマン生活を経て、阪神淡路大震災直後、会社を退社、代議士秘書
平成15年、二度目の挑戦で県議会初当選(以降6期連続当選)

(現 在) 兵庫県議会議員(6期)
公益財団法人兵庫県スポーツ協会 評議員
兵庫県自転車競技連盟 会長 他
(主な経歴) 関西広域連合議会 議員(2期)
兵庫県監査委員
兵庫県議会議会運営委員会 副委員長
予算特別委員会 副委員長
兵庫県産業労働常任委員会 委員長
兵庫県農政環境常任委員会 委員長
ひょうご県民連合議員団 団長 他 要職を歴任



四国八十八ヶ所
巡礼第一番札所
霊山寺にて
(12月17日)



50歳を機に議会の活動を第2ステージとし、特定の政党に属さず精力的に活動中。
本年4月より第3ステージと位置づけ孤軍奮闘中!(趣味)ドライブ、自転車、登山(日本100名山路破) 他

伊川谷事務所
〒651-2113 神戸市西区伊川谷町有瀬537-3
TEL 078-978-0667
E-mail: ishiihidetake@gmail.com

石井ひでたけ 事務所

玉津事務所
〒651-2133 神戸市西区枝吉1-215
TEL 078-920-2200
WEB: https://ishiihidetake.info

月曜 県政相談会

毎週月曜日の10時から12時まで
伊川谷事務所にて
「県政相談会」を開催しています。
どうぞご意見・ご要望お寄せください。



公務等で不在の場合がありますので、事務所へご確認の上お越しください。